

## 内閣総理大臣声明

平成21年5月25日

1. 北朝鮮は、朝鮮中央通信を通じ、本日、地下核実験を実施し、成功させた旨公表した。また、我が国においても、気象庁が、本日午前9時55分頃、通常の波形とは異なる、北朝鮮の核実験によるものである可能性のある地震波を探知したところである。
2. 北朝鮮による核実験は、北朝鮮が大量破壊兵器の運搬手段となり得る弾道ミサイル能力の増強をしていることと併せ考えれば、我が国の安全に対する重大な脅威であり、北東アジア及び国際社会の平和と安全を著しく害するものとして断じて容認できない。北朝鮮に対し厳重に抗議し、断固として非難する。かかる行為は、平成18年10月14日の国連安保理決議第1718号に明確に違反するものであるとともに、NPTに対する重大な挑戦である。また、日朝平壤宣言や六者会合の共同声明にも違反するものである。我が国は、同盟国である米国をはじめとする関係国と連携しつつ、国と国民の安全の確保に引き続き万全を期するとともに、今後の必要な施策について早急に検討を進める。
3. 北朝鮮は、既に平成18年10月に核実験の実施を発表し、また、本年4月には我が国を含む関係各国が自制を求めたにもかかわらず、安保理決議に違反するミサイル発射を強行した。本年4月13日の安保理議長声明で、北朝鮮が安保理決議第1718号の下での義務を完全に遵守しなければならないとされている中での核実験の実施は、国連安保理の権威に対する更なる重大な挑戦である。
4. 我が国は、既に国連安保理緊急会合の開催を要請したところであるが、米国及び韓国をはじめとする国際社会と連携して、国連安保理等において迅速に対応していく。また、北朝鮮が、安保理決議第1718号等を完全に履行するよう要求する。我が国は、この機会に改めて、拉致、核、ミサイルといった諸懸案の包括的な解決に向け具体的な行動をとるよう、北朝鮮に強く求める。
5. 核実験に伴う放射能の我が国に対する影響については、政府としては、放射能対策連絡会議を開催し、関係省庁、機関の協力を得て、我が国における放射能の測定体制を強化するとともに、関係各国と連携し万全な体制で対応する考えである。

# 北朝鮮による核実験の実施について

(外交的取組)

平成21年5月26日7時現在  
外務省

## 1. 事実関係

- (1) 25日午前9時55分頃、気象庁が北朝鮮において通常の波形とは異なる地震波を探知。
- (2) 正午頃、北朝鮮は、朝鮮中央通信を通じ、「地下核実験を成功させた」と報じた。
- (3) 11時45分、官邸内に官邸対策室、外務省内に外務大臣を本部長とする緊急対策本部を立ち上げた（注：中曽根外務大臣はASEM外相会合出席のためハノイ出張中であり、12時30分頃の外務省緊急対策本部会合は伊藤外務副大臣が主催）。

## 2. 我が国の立場

- (1) 北朝鮮による核実験は、北朝鮮が弾道ミサイル能力の増強をしていることと併せ考えれば、我が国の安全に対する重大な脅威であり、北東アジア及び国際社会の平和と安全を著しく害するものとして断じて容認できない。北朝鮮に対し嚴重に抗議し、断固として非難する。
- (2) かかる行為は安保理決議第1718号に明確に違反、NPTに対する重大な挑戦。また、日朝平壤宣言や六者会合の共同声明にも違反する。
- (3) 我が国は、米韓をはじめとする国際社会と連携して、安保理において決議を採択することを目指し、迅速に対応していく。

## 3. 外交的対応

- (1) 北朝鮮に対する抗議  
25日、14時30分頃、北京「大使館」経由にて北朝鮮に対する抗議を実施。
- (2) 各国との協議・連携  
各国との間で電話首脳会談・外相会談等を実施し、上述の我が国の考え方を説明し、安保理等での連携を確認。また、多数国間会合においても本件を取り上げた。  
25日、11時30分（日本時間、以下同じ。） 日韓外相会談（於：ハノイ）  
12時50分 藤崎駐米大使からスタインバーグ米國務副長官に対する申入れ  
16時 日韓首脳電話会談  
17時10分頃 日中外相立ち話  
19時頃 ASEM外相会合（第一セッション）  
20時45分 日米外相電話会談  
21時30分頃、ASEM外相ワーキングディナー
- (3) 国連における対応  
25日、12時50分頃（日本時間）、安保理議長国（ロシア）に対し、安保理会合の緊急招集を要請。26日5時30分頃安保理非公式会合開催、6時20分頃終了。終了後、安保理議長（ロシア）より、北朝鮮の核実験に対する強い反対と非難を表明し、北朝鮮に関連安保理決議に完全に従うよう要求し、また、安保理決議につき直ちに作業を開始することを決定した旨のプレス向け発言が安保理議長より行われた。

## 4. 各国の反応

(別添)

(了)

## 各国の反応

(以下の時間付けは日本時間。)

### 1. 米 国:オバマ大統領の声明(25日)

#### (1)書面での声明(25日正午過ぎ発出)

北朝鮮の核実験は、国際法違反であり、すべての国々に対する深刻な懸念。北朝鮮の核兵器開発及び弾道ミサイル計画は国際社会の平和と安全への脅威。安保理決議に露骨に反する行動をとることにより、北朝鮮は国際社会に対し正面から無謀な挑戦を行っている。北朝鮮による行動に対して国際社会が行動する必要がある、六者会合メンバーや国際社会との協力を継続する。

#### (2)口頭での声明(25日夜、オバマ大統領が読み上げ)

北朝鮮の無謀な行動を強く非難する。同国の行動は明らかに国際法に違反する。米国及び国際社会は、今回の事態に対して行動しなければならない。北朝鮮は、安保理決議に公然と無視した結果、国際社会からより強い圧力を招くこととなった。

### 2. 韓 国:政府声明(25日午後)

北朝鮮の核実験は深刻な脅威かつ重大な挑戦であり、決して許すことはできない挑発行為。安保理決議第1718号に対する明確な違反。安保理が適切な措置をとるよう努める。(その他、韓国統一部は、韓国国民に対し、北朝鮮への渡航自粛を要請。ただし、開城工団関係者については例外として訪朝を容認。)

### 3. 中 国:外交部声明(25日夜)

北朝鮮の核実験に対し、断固として反対する。北朝鮮に六者会合への復帰を強く求める。関係国に対し冷静かつ適切に対応し、協議と対話を通じて平和的に問題を解決するよう呼びかける。

### 4. ロシア:露外務省声明(25日)

北朝鮮の核実験は、安保理決議第1718号に対する違反以外の何物とも評価し得ず、核兵器不拡散条約の強化を目的とする国際的努力に対する深刻な打撃。北朝鮮に責任ある対応を示すよう呼びかける。朝鮮半島の核問題は、六者交渉プロセスの枠組み内においてのみ解決することが出来る。

### 5. 英 国:ミリバンド外相の声明(25日)

北朝鮮の核実験は誤った、見当はずれで危険な行為であり、安保理決議第1718号の明確な違反。北朝鮮の国際的な義務は明確。英国は、他の国際社会のパートナーと、国連安保理における対応も含め、団結した対応に向けて協議していく。

#### 6. フランス:外務・欧州問題省声明(25日)

北朝鮮による核実験を強く非難。あらゆる新たな挑発行為を慎み、安保理決議第1718号を直ちに実行し、六者会合の議論を再開することを求める。仏は、とりわけ制裁の強化について安保理及び地域のパートナーとの協議を行う。(その後、同省報道官は、「安保理決議第1718号の明白かつ受け入れがたい違反」との認識を発言。)

#### 7. EU:ソラナ上級代表の声明(25日)

北朝鮮が実施した核実験を非難。安保理決議第1718号の露骨な違反であり、地域の平和と安全保障に更なる脅威を与えるもの。北朝鮮によるこれらの無責任な行為は、国際社会による断固とした反応をもたらす。

#### 8. 豪州:ラッド首相の声明(25日夜)

北朝鮮による本日の核実験と直後のミサイル実験の報道に関し、これを強く非難する。特に日本、韓国、米国と共に、北朝鮮の行動に対し強固な立場をとり、国連安保理決議第1718号の違反となるこれらの挑発的な行為に深く懸念を有し、国連安保理が素早く確固とした行動をとることを呼びかける。

#### 9. ニュージーランド:マッカーリー外相の声明(25日)

北朝鮮の核実験は、朝鮮半島を不安定の危険にさらす新たな挑発的行為であり非難する。(北朝鮮への)如何なる措置を執るべきかについての国際社会の検討に参加する。

#### 10. インド:クリシュナ外相の声明(25日)

北朝鮮が国際的なコミットメントに違反し核実験を行ったことは残念。こうした核実験が地域の平和と安定にもたらす否定的な影響を懸念。

#### 11. イタリア:フラッティーニ外相の声明(25日)

北朝鮮による核実験は安保理決議第1718号違反で、地域及び国際平和への脅威であり、そして北朝鮮の安全や国際イメージに役に立たないものであると強く非難。六者会合における対話を支持。

#### 12. シンガポール:外務省の声明(25日夜)

北朝鮮の核実験は向こう見ずで危険な挑発行為であり、深い失望を有する。北朝鮮は直ちに六者会合に復帰すべき。

#### 13. 国連:潘基文(パン・ギムン)国連事務総長の発言(25日夜報道)

北朝鮮の核実験に深い憂慮を示す。今般の実験は安保理決議第1718号の明白な違反。北朝鮮は国際社会との約束を守らなければならない。